

01 裁判所事務官

一人一人が尊重され、
自発的に考え
行動ができる
風通しの良い職場環境

私は現在、札幌地方裁判所刑事部所属の事務官として、書記官の仕事を補助する事務を行っています。具体的には、検察官や弁護士等との間の書類の授受、開廷前の法廷の準備、証人や裁判員裁判に参加する裁判員の方の接遇など、事務の内容は多岐にわたっており、刑事裁判の手續に幅広く携わっています。これらの事務の一つ一つは、裁判所を利用される方、広くは国民の信頼に繋がっている重要な仕事で、やりがいと責任感を感じながら、充実した日々を過ごしています。

刑事部では、毎日、検察官や弁護士等たくさんの法律の専門家のほか、裁判員裁判の選任手續や裁判期日には一般の方も多く来庁し、事務官が直接対応や手續の説明をする場面もあります。初めは知識不足で慣れない業務に苦労することもありましたが、上司や先輩職員が一つ一つの手續の意味や根拠を示しながら指導・教育してくれたことで、自分が行う業務の理解が深まりました。採用から1年経った今では、できることや知識も増え、自信をもって対応や手續の説明ができるようになりました。任せていただく



山崎 大地

札幌地方裁判所 裁判所事務官 (R4採用)

【略歴】R4 札幌地方裁判所裁判所事務官 (採用)

仕事も増え、チームの一翼を担っていることに大きなやりがいを感じています。裁判所は、「風通しの良い職場環境」が魅力であると感じています。分からないことは気軽に質問や相談をしやすく、若手の意見・提案も尊重され、積極的に発言しやすい環境です。職員同士の意見交換やコミュニケーションも活発で、仕事に対して熱心な方が多い、活気のある環境なので、チーム一丸となって働くことに楽しさを感じながら、前向きに仕事に取り組むことができます。これからは、さらに知識を習得し、より多くの経験を積み、上司や先輩職員のように成長していけるよう努力していきたい

です。また、今後書記官に任官してより専門的な経験を積んでいけるよう、書記官になるための研修を受ける、裁判所職員総合研修所の入所試験のための勉強にも励んでいます。



Private Time

休日は、北海道内各地の温泉やキャンプ場に行き、大自然と触れ合ったり、美味しいものを食べたりして心身ともにリフレッシュしています。裁判所は休暇が取りやすい環境なので、まとまった休みをとって、全国各地へ旅行に行き、ご当地の美味しいものを食べたり観光地を巡ったりしています。

1日のスケジュール



8:30
始業

大きな挨拶から始まり、その日のやるべきことを確認し、メールチェック等を行います。



9:00
法廷事務

法廷前に開廷表を掲示したり、皆様に快適に利用していただけるよう法廷の整理・整頓をします。



12:15
昼食・休憩

昼食をとり、天気がいい日は散歩をして、午後からの仕事に向けてリフレッシュします。



14:00
郵便業務

発送する郵便の準備や、届いた郵便物の確認をします。



15:00
窓口・電話対応

弁護人や検察庁からの書類の授受などを行います。



17:00
終業

翌日の予定を確認して笑顔で退庁します。